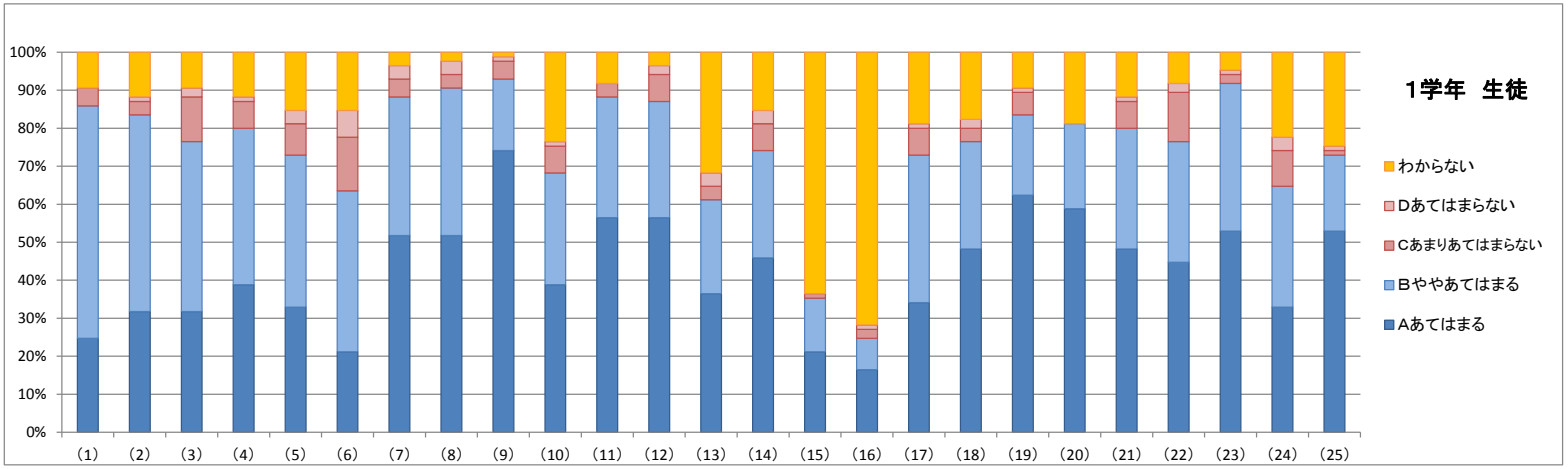
h28年度　学校評価アンケート集計（%）　生徒

A:あてはまる　B:ややあてはまる　C:あまりあてはまらない　D:あてはまらない　わ:わからない

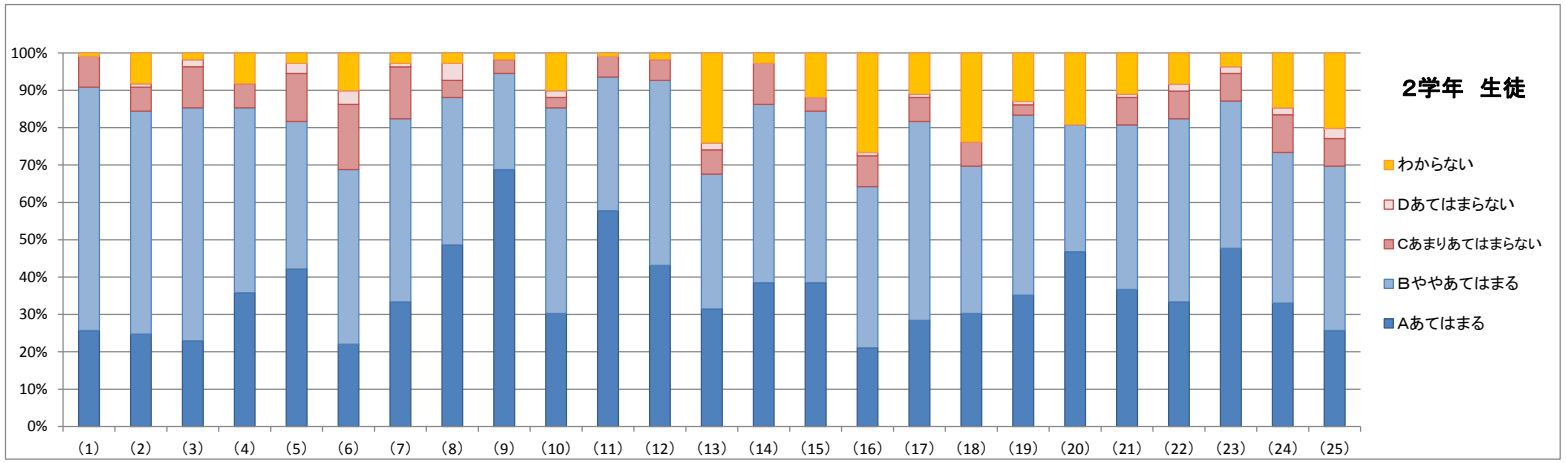
観点			評価項目	1学年					2学年					3学年					全学年				
				A	B	C	D	わ	A	B	C	D	わ	A	B	C	D	わ	A	B	C	D	わ
1 学習指導		各教科	(1) 一中の授業は、分かりやすい。	25	61	5	0	9	26	65	8	0	1	35	58	3	2	2	29	61	5	1	4
			(2) 一中生は、基礎的な学力は身についている。	32	52	4	1	12	25	60	6	1	8	60	31	0	1	8	39	48	3	1	9
			(3) 一中の各教科の評価・評定については、先生から分かりやすい説明を受けている。	32	45	12	2	9	23	62	11	2	2	36	40	14	5	5	30	49	12	3	5
			(4) 一中では、※①言語活動の充実を図る授業を積極的に行っている。	39	41	7	1	12	36	50	6	0	8	51	35	2	2	10	42	42	5	1	10
			(5) 一中では、※②ＩＣＴ機器を活用した授業を行っている。	33	40	8	4	15	42	39	13	3	3	63	26	7	1	3	46	35	9	2	7
		道徳	(6) 一中では、道徳の授業を受けることで、道徳的な考え方や行動力が身についてきた。	21	42	14	7	15	22	47	17	4	10	34	44	8	3	12	26	44	13	5	12
		総合的な学習の時間	(7) 一中では、※③総合的な学習の時間に取り組んだことによって、課題を解決したり、情報を活用したり、それを発表したりする力が身に付いてきた。	52	36	5	4	4	33	49	14	1	3	56	32	2	2	8	47	39	7	2	5
		特別活動	(8) 一中の学校行事（体育祭、一中フェスタなど）は、多くの生徒が活躍でき、内容も充実している。	52	39	4	4	2	49	39	5	5	3	47	38	9	5	2	49	39	6	4	2
			(9) 一中の修学旅行、セカンドスクールの宿泊行事や校外学習では、充実した体験活動ができた。	74	19	5	1	1	69	26	4	0	2	75	20	4	0	2	72	21	4	0	2
			(10) 生徒会本部や各種委員会が行う生徒会活動は、生徒の自主的な活動になっている。	39	29	7	1	24	30	55	3	2	10	49	32	2	4	13	39	39	4	2	15
2 生活指導			(11) 一中では、きまりに沿った標準服の着用や登下校の時間を守るなどの基本的な生活習慣を身につける取り組みをしている。	56	32	4	0	8	58	36	6	0	1	58	30	9	1	2	57	33	6	0	4
			(12) 一中では、避難訓練や防災訓練、セーフティー教室などの、安全・防災への取り組みを十分に行っている。	56	31	7	2	4	43	50	6	0	2	69	24	4	3	1	56	35	5	2	2
			(13) 一中では、先生やカウンセラーがいつでも生徒の悩みを受けとめて相談にのっている。	36	25	4	4	32	31	36	6	2	24	35	16	8	3	38	34	26	6	3	31
3 進路指導			(14) 一中では、SNS等の利用について家族で話し合い、決まり（ルール）を守るように生徒に指導している。	46	28	7	4	15	39	48	11	0	3	55	33	5	1	6	46	36	8	2	8
			(15) 一中では職業調べやマナー講習、職場体験、高校訪問学習、進路希望調査などの進路指導が充実している。	21	14	1	0	64	39	46	4	0	12	60	31	3	3	3	40	30	3	1	26
			(16) 一中では、※④進路学習で就職や進学について情報を十分に生徒に提示し※⑤進路選択の相談にのっている。	16	8	2	1	72	21	43	8	1	27	61	28	2	3	6	33	26	4	2	35
4 学校運営			(17) 一中は、学校の教育方針や授業や行事、部活動、生活面などの指導の重点をわかりやすく説明している。	34	39	7	1	19	28	53	6	1	11	38	38	7	2	16	33	43	7	1	15
			(18) 一中では、校長先生を中心に他の先生たちや主事さんたちがみんなで協力している。	48	28	4	2	18	30	39	6	0	24	33	27	2	1	36	37	32	4	1	26
			(19) 一中の先生方は、授業や行事、学習面や生活面などの教育活動に一生懸命に取り組んでいる。	62	21	6	1	9	35	48	3	1	13	51	30	5	2	12	50	33	5	1	11
			(20) 一中の事務主事さんや用務主事さんなど先生以外の職員の方たちは、担当の仕事に力をつくしている。	59	22	0	0	19	47	34	0	0	19	68	14	1	0	18	58	23	0	0	19
			(21) 一中は、学校での様々な出来事を生徒や保護者に、口頭やプリントで、きちんと説明している。	48	32	7	1	12	37	44	7	1	11	70	20	4	0	6	52	32	6	1	10
			(22) 一中の校舎内外は、日常的に清潔に整備されている。	45	32	13	2	8	33	49	7	2	8	47	40	4	5	4	42	40	8	3	7
5 地域連携			(23) 一中では、防災訓練や一中フェスタなどを通じて地域との結びつきを大切にしている。	53	39	2	1	5	48	39	7	2	4	66	24	4	1	6	55	34	5	1	5
			(24) 一中の生徒は、近隣の小学校や青少協・コミセンの行事などを通じて、地域の活動に協力している。	33	32	9	4	22	33	40	10	2	15	38	26	9	3	24	35	33	9	3	20
			(25) 一中は、学校だよりやホームページを通じて、生徒の活動や学校の様子などの情報をしっかり地域に伝えている。	53	20	1	1	25	26	44	7	3	20	46	23	4	1	26	42	29	4	2	24

＊A評価・B評価の上位評価の合計が80%を超えるものには青、C評価・D評価の下位評価合計及び「わからない」の評価が30%を超える質問項目に関しては赤の網掛けで示した。

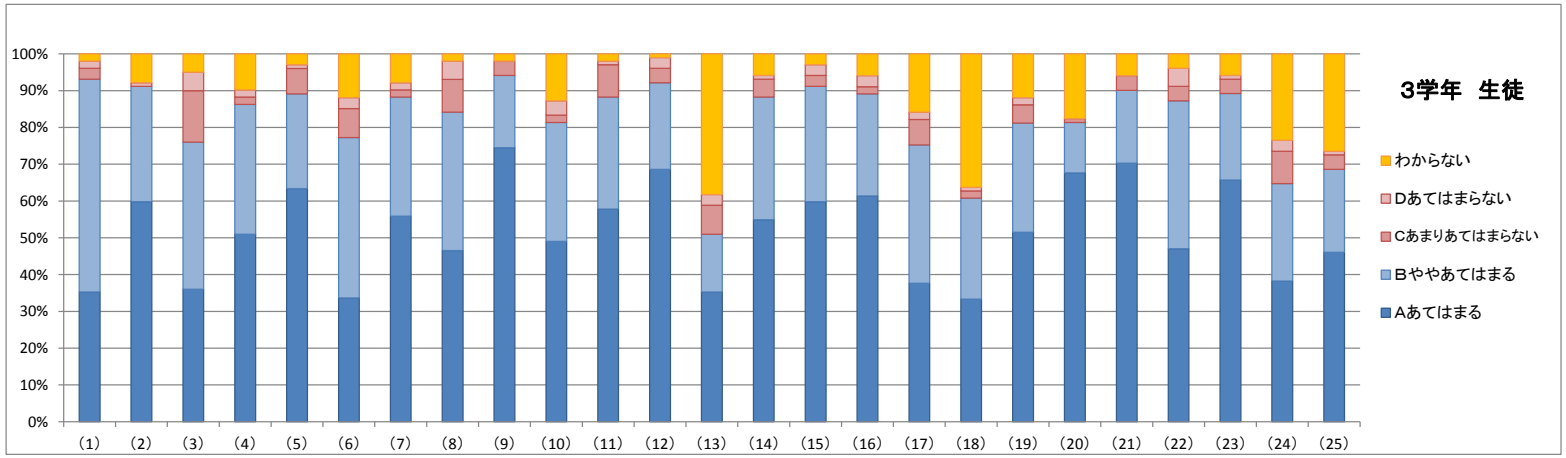
h28



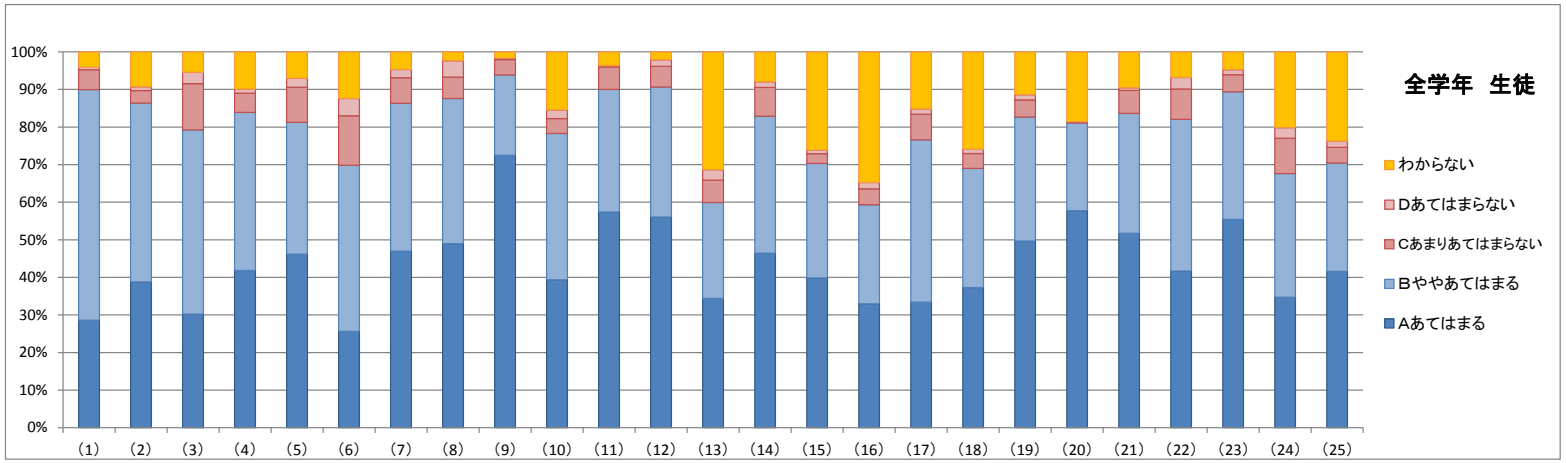
h28


2学年　生徒
わからない
Dあてはまらない
Cあまりあてはまらない
Bややあてはまる
Aあてはまる
100%
90%
80%
70%
60%
50%
40%
30%
20%
10%
0%
(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13) (14) (15) (16) (17) (18) (19) (20) (21) (22) (23) (24) (25)

h28


3学年　生徒
わからない
Dあてはまらない
Cあまりあてはまらない
Bややあてはまる
Aあてはまる
100%
90%
80%
70%
60%
50%
40%
30%
20%
10%
0%
(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13) (14) (15) (16) (17) (18) (19) (20) (21) (22) (23) (24) (25)

h28



考　察　分析及び改善策を提示するに当たり、経年変化を軸とする。

h28

評価項目	分析	改善策
(1)一中の授業は、分かりやすい。 (2)一中生は、基礎的な学力は身についている。 (3)一中の各教科の評価・評定については、先生から分かりやすい説明を受けている。 (6)一中では、道徳の授業を受けることで、道徳的な考え方や行動力が身についてきた。	(1)では上位評価が各学年とも80%を超えており、学年進行と共に、上位評価が増え、全学年では90%の評価を得ている。また、(2){基礎学力身についているか}について昨年度(27年度)第一学年では上位評価が77%であったが、第二学年となった平成28年度では85%になっている。昨年は全学年で75%であったが、本年度は87%と上昇している。一方、基礎的な学力が身についているかについて「D」または「わからない」との回答は10%程度ではあるが、改善する必要がある。(1)で明らかになった「わかりやすい授業」が行われている結果が基礎学力の定着を促進している要因の一つと分析できるので具体策を右欄に示す。 (3)の評価評定について、昨年度では全学年では83%、本年度は79%になっている。一方、「C」「D」「わからない」と回答している一年生は、23%、三年生は24%である。 (6)30%の生徒が「C」「D」「わからない」と回答している。特に一年生では35%である。学年が進むにつれて、20%程度になるが、改善したい。	(1)(2)では特に肯定的な割合が多かった。一方、基礎学力に不安をもつ生徒たちが居ることを改めて認識し、具体的な手立てを講じる必要がある。多様な要因がある故、専門家スタッフ巡回指導、S．C．やTA等の更なる活用が改善の一助になると考える。また、教師の授業力(力量)が生徒に影響を及ぼす。研修で学んできたことを、学校全体の共有財産とする行動が必要とも考える。英語・数学に於いて東京方式をベースに少人数指導をすると共に、全教科において授業研究を行う一中の教員の意気込みをもち続け実践していくことが力量を保持し高める方法である。平成29年度も基礎学力に不安を持つ生徒を十分に視野にいれて毎時の目標を明確に示し「わかりやすい」授業をしていきたい。 (3)評価評定について4月に保護者会、学年会、教科授業の場を設定し全学年の生徒に丁寧に説明する。特に新入生にむけてわかりやすい説明を行う。また、三年生に対しても特に進路指導を視野に入れて再度説明する。一方、評価については、地道な説明のみならず、正確な処理をしていく必要がある。教員同士、顔を突き合わせて話し、お互いに確認しあうことでミスを防ぎ、信頼できる評価評定を生徒・保護者に示す。 (6)道徳授業の改善が必要と考える。外部の研修で学んできた内容の共有化、学年教員全員によるローテーションでの道徳授業、道徳研究授業の実践をする方法を取り入れる。道徳地区公開講座に保護者や地域の方々に来ていただき、実際に授業を見ていただく。その結果、家庭等での生徒との共通の話題になり生徒たちの道徳授業に対する見方が変容すると考える。

（13）一中では、先生やカウンセラーがいつでも生徒の悩みを受けとめて相談にのっている。	昨年度とアンケートの文言は同じではないが、意図するところは同じである。昨年度は「教育相談体制」というやや抽象的な表現であったが、本年度は先生やスクールカウンセラーの文言をいれてある。昨年度、第一学年では肯定的な回答が62%であり、本年度二年生時には年度は67%となっている。「わからない」の回答率は25%、24%で変化はないと考えられる。一方昨年の第二学年の肯定的な回答は80%、第三学年時点では51%となりなっている。「分からない」と回答した生徒が全体で昨年度は21%、本年度は31%である。基本的に教職員体制は変わっていない。残念ながら、S. C.. の活動が生徒にとり実感できていないのが現状と思われる。	一中の教員は日頃から生徒及び保護者と関わる意識をもち行動している。そのうえで、さまざまなタイプの生徒、保護者がいることを鑑み、「聴く」ことをベースとし、「理解」してもらう意識をもち対応していくことを再度共通認識として確認したい。 S. C.の活動については、①生徒と更に関わること、 ②その方策を提示し実行すること、 が必要と考える。先生方との相談は日頃からしているが、生徒との関わりが、「相談に来る生徒のみ」が多い。具体的方法として生活指導部からの提案があり（イ）生活指導部会にS. C. が参加 （ロ）S. C. 便りを「毎月発行」を本年度から始めた。次年度は、S. C. が生徒と積極的な関わりを深めるべく内容の提案をする流れをつくる。（イ）は多様な生徒の実態を先生方が知る機会の一つの場であるゆえ、S. C. も委員として参加を次年度もしてもらう。一方、部会では報告が多くなる傾向があるが、具体的対応策を経ての報告、対応改善をS. C. の活用をはかることで推し進める。

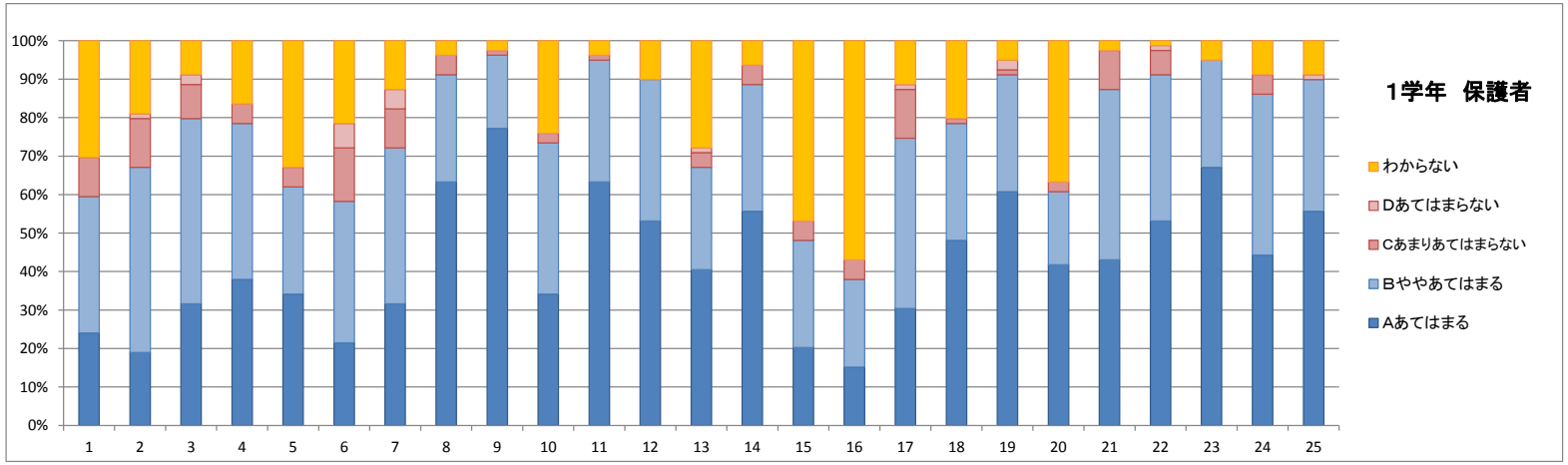
h28年度　学校評価アンケート集計（%）　　保護者

A:あてはまる　B:ややあてはまる　C:あまりあてはまらない　D:あてはまらない　わ:わからない

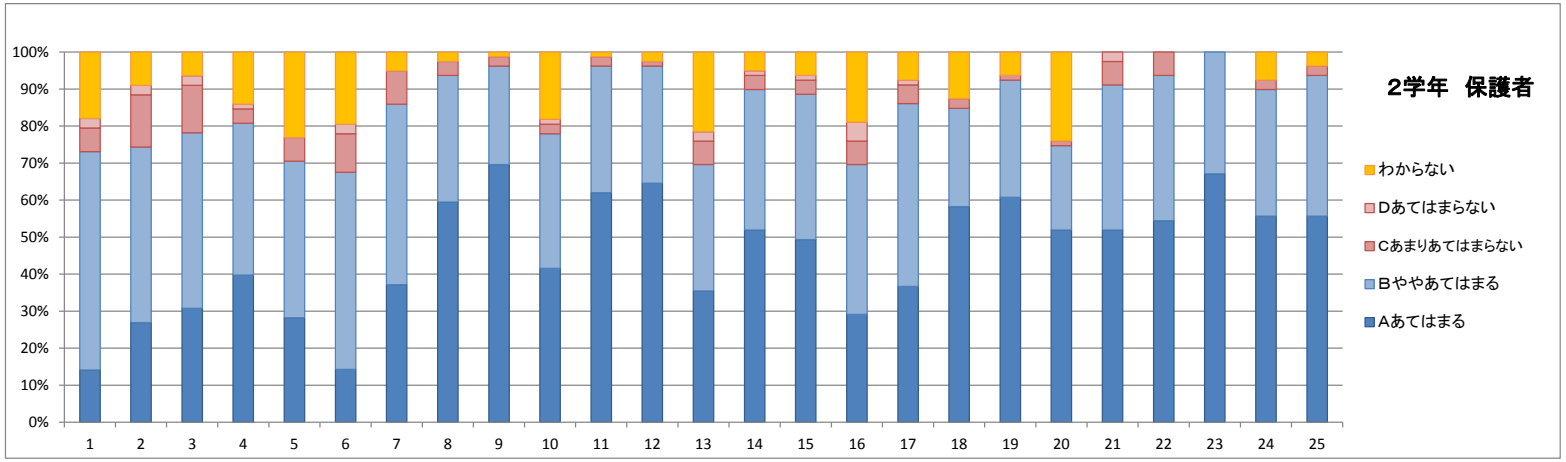
観点			評価項目	1学年					2学年					3学年					全学年				
				A	B	C	D	わ	A	B	C	D	わ	A	B	C	D	わ	A	B	C	D	わ
1 学習指導	各教科	(1)	一中の教員の授業は、分かりやすい。	24	35	10	0	30	14	59	6	3	18	32	52	3	1	11	23	49	7	1	20
		(2)	一中では、生徒に基礎的な学力が身についている。	19	48	13	1	19	27	47	14	3	9	47	41	6	0	6	31	46	11	1	11
		(3)	一中の各教科の評価・評定については、教員から分かりやすい説明を受けている。	32	48	9	3	9	31	47	13	3	6	39	38	11	8	3	34	44	11	4	6
		(4)	一中では、※①言語活動の充実を図る授業を積極的に行っている。	38	41	5	0	16	40	41	4	1	14	49	33	2	0	15	42	38	4	0	15
		(5)	一中では、※②ＩＣＴ機器を活用した授業を行っている。	34	28	5	0	33	28	42	6	0	23	37	26	9	2	25	33	32	7	1	27
	道徳	(6)	道徳の授業を受けることで、道徳的な考え方や行動力が身についてきた。	22	37	14	6	22	14	53	10	3	19	32	41	9	1	16	23	44	11	3	19
	総合的な学習の時間	(7)	※③総合的な学習の時間に取り組んだことによって、課題を解決したり、情報を活用したり、それを口 発表したりする力が身に付いてきた。	32	41	10	5	13	37	49	9	0	5	45	40	6	2	7	38	43	8	2	8
	特別活動	(8)	一中の学校行事（体育祭、一中フェスタなど）は、多くの生徒が活躍でき、内容も充実している。	63	28	5	0	4	59	34	4	0	3	62	29	5	1	3	61	30	5	0	3
		(9)	修学旅行、セカンドスクールの宿泊行事や校外学習では、充実した体験活動ができた。	77	19	1	0	3	70	27	3	0	1	73	23	2	0	1	73	23	2	0	2
		(10)	生徒会本部や各種委員会が行う生徒会活動は、生徒の自主的な活動になっている。	34	39	3	0	24	42	36	3	1	18	44	36	2	1	16	40	37	2	1	20
2 生活指導		(11)	一中では、きまりに沿った標準服の着用や登下校の時間を守るなどの基本的な生活習慣を身につける口　取り組みをしている。	63	32	1	0	4	62	34	3	0	1	77	21	1	0	1	67	29	2	0	2
		(12)	一中では、避難訓練や防災訓練、セーフティー教室などの、安全・防災への取り組みを十分に行っている。	53	37	0	0	10	65	32	1	0	3	60	37	1	0	1	59	35	1	0	5
		(13)	一中では、先生やカウンセラーがいつでも生徒の悩みを受けとめて相談にのっている。	41	27	4	1	28	35	34	6	3	22	43	28	9	2	18	39	29	6	2	23
3 進路指導		(14)	一中では、SNS等の利用について家族で話し合い、決まり（ルール）を守るように指導している。	56	33	5	0	6	52	38	4	1	5	53	44	1	0	2	53	38	3	0	5
		(15)	一中では職業調べやマナー講習、職場体験、高校訪問学習、進路希望調査などの進路指導が充実している。	20	28	5	0	47	49	39	4	1	6	47	44	3	1	5	39	37	4	1	19
		(16)	一中では、※④進路学習で就職や進学について情報を十分に生徒に提示し※⑤進路選択の相談にのっている。	15	23	5	0	57	29	41	6	5	19	41	41	9	3	5	29	35	7	3	27
4 学校運営		(17)	一中は、学校の教育方針や授業や行事、部活動、生活面などの指導の重点をわかりやすく説明している。	30	44	13	1	11	37	49	5	1	8	36	48	7	1	7	35	47	8	1	9
		(18)	一中では、校長を中心に教職員がみんなで協力している。	48	30	1	0	20	58	27	3	0	13	52	29	4	0	15	53	29	2	0	16
		(19)	一中の教員は、授業や行事、学習面や生活面などの教育活動に一生懸命に取り組んでいる。	61	30	1	3	5	61	32	1	0	6	65	28	2	1	4	62	30	2	1	5
		(20)	一中の事務主事や用務主事など教員以外の職員は、担当の仕事で力をつくしている。	42	19	3	0	37	52	23	1	0	24	53	26	1	1	19	49	22	2	0	26
		(21)	一中は、学校での様々な出来事を生徒や保護者に、口頭やプリントで、きちんと説明している。	43	44	10	0	3	52	39	6	3	0	54	38	5	2	1	50	40	7	2	1
		(22)	一中の校舎内外は、日常的に清潔に整備されている。	53	38	6	1	1	54	39	6	0	0	60	29	8	1	1	56	35	7	1	1
5 地域連携		(23)	一中では、防災訓練や一中フェスタなどを通じて地域との結びつきを大切にしている。	67	28	0	0	5	67	33	0	0	0	71	25	1	1	1	68	29	0	0	2
		(24)	一中の生徒は、近隣の小学校や青少協・コミセンの行事などを通じて、地域の活動に協力している。	44	42	5	0	9	56	34	3	0	8	53	36	1	2	8	51	37	3	1	8
		(25)	一中は、学校だよりやホームページを通じて、生徒の活動や学校の様子などの情報をしっかり地域に伝えている。	56	34	0	1	9	56	38	3	0	4	55	36	3	1	5	56	36	2	1	6
					回収率		94%			回収率		72%			回収率		96%			回収率		87%	

＊A評価･B評価の上位評価の合計が80%を超えるものには青、C評価･D評価の下位評価合計及び「わからない」の評価が30%を超える質問項目に関しては赤の網掛けで示した。

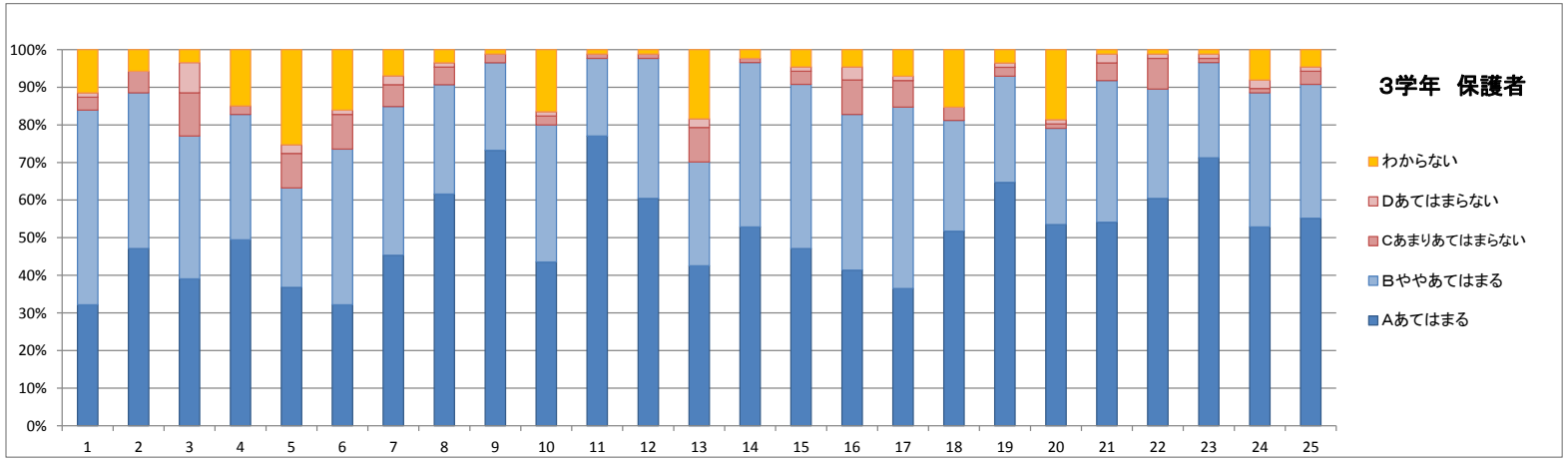
h28



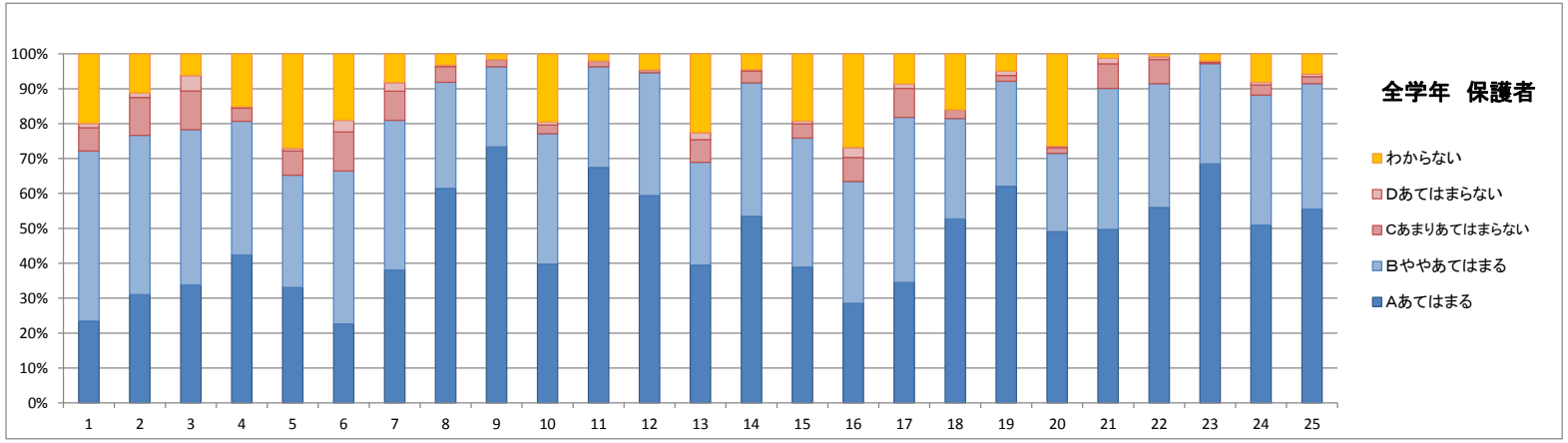
h28


100%
90%
80%
70%
60%
50%
40%
30%
20%
10%
0%
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25
2学年　保護者
わからない
Dあてはまらない
Cあまりあてはまらない
Bややあてはまる
Aあてはまる

h28


100%
90%
80%
70%
60%
50%
40%
30%
20%
10%
0%
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25
3学年　保護者
わからない
Dあてはまらない
Cあまりあてはまらない
Bややあてはまる
Aあてはまる

h28



考　察

28

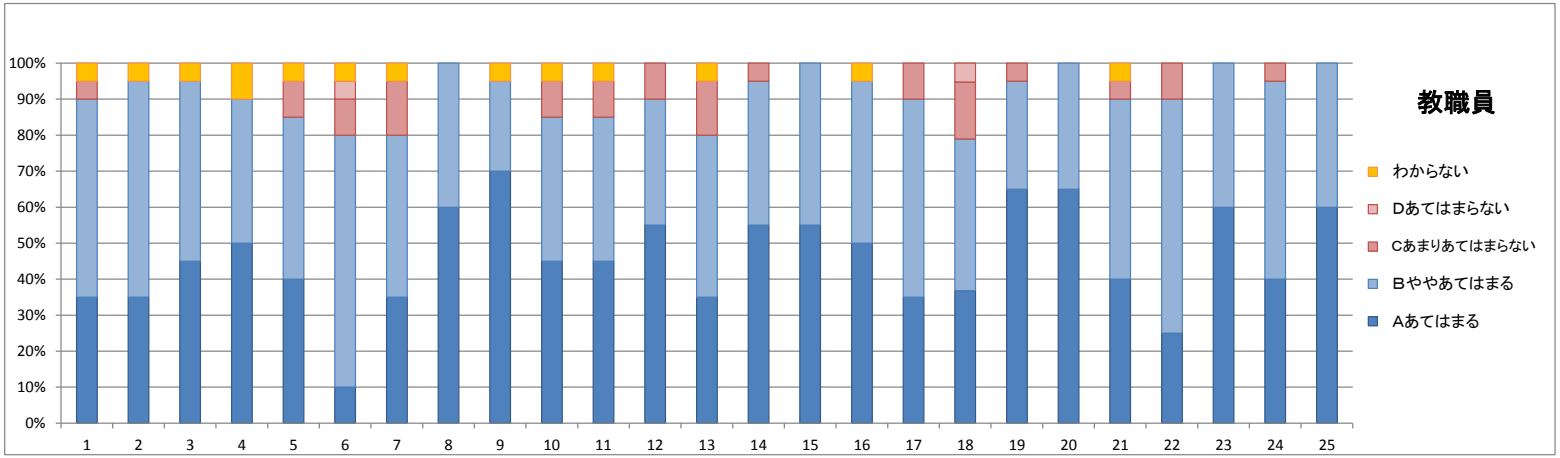
観点・項目	分析	改善策
(5)一中では、※②ICT機器を活用した授業を行っている。	・「わからない」の回答は平成27年度では全学年30%を超えていたが、平成28年度では第一学年が33%であるが2，3学年そして、全学年では3割以下となった。保護者にICT機器を活用した授業を行っていることが伝わりつつある。一方、教員に対する同アンケートでは肯定的な回答が85%である。	・平成28年度2学期から電子黒板が各教室に配置され、ICT機器の一つとして授業で活用できるようになった。すでに活用し授業効果を上げている教科もある。授業がわかりやすければ授業の様子が保護者に伝わっていく可能性が高い。現状況の設備で更に工夫できることを教科等を越えて研修し授業で積極的に実践することが改善策の一つ。また、学校公開日にICTを活用した授業を実際に参観してもらうことも改善策の一つ。
(10)生徒会本部や各種委員会が行う生徒会活動は、生徒の自主的な活動になっている。 (13)一中では、先生やカウンセラーがいつでも生徒の悩みを受けとめて相談にのっている。	(10)「C」「D」「わからない」と回答した保護者は23%。学年が進行するにつれ27%、22%、19%となっている。一年次からの取り組みに改善が必要と考える、 (13))「C」「D」「わからない」と回答した保護者は各学年とも約30%である。 教員と保護者の関わりは多いが、S. C. との関わりは部分的になっていると思われる。	・「花壇」づくりやあいさつ運動、生徒会が自主的に活動している活動を学校全体で取り組めるようにしたい。地域行事に生徒会役員のみならず全生徒に呼びかけをし、準備段階から経験させる。具体的には、小学校の運動会、ハロウィーン、地域防災まつり、コミセン祭り等の行事を知らせ、参加の機会を提供する。 (13)S. C. 便りを定期的に発行し、学校でのS. C. の活動を家庭に知らせる。生徒との関わりを更に増やし、生徒からS. C. の話が家庭でも出るようにする。
(15)一中では職業調べやマナー講習、職場体験、高校訪問学習、進路希望調査などの進路指導が充実している。 (16)一中では、※④進路学習で就職や進学について情報を十分に生徒に提示し※⑤進路選択の相談にのっている。	(15)(16)で「わからない」の回答は第一学年保護者では約50%である。一方第三学年の保護者が「肯定的」に回答しており、90%、80%である。つまり、学年が進行すると(15)(16)に対する保護者の理解が深まると考えられる。	・セカンドスクール等の取り組みもあり、第一学年の進路学習に本格的に取り組むのが3学期という現状もある。 (第一学年での取り組みが三年間の学習を方向づける。計画的に取り組んでいるが、保護者への更なるアピールが必要。「宣伝」ではなく、『巻き込む」「取り込む」「協力をえる」視点で企画を立てる方法を実行していく。)

h28年度　学校評価アンケート集計（%）　教職員A:あてはまる　B:ややあてはまる　C:あまりあてはまらない　D:あてはまらない　わ:わからない

観点		評価項目	教職員%				
			A	B	C	D	わ
1 学習指導	各教科	(1) 授業は、生徒にとって分かりやすい。	35	55	5	0	5
		(2) 生徒は基礎的な学力が身に付いている。	35	60	0	0	5
		(3) 教科の評価・評定については、分かりやすい説明を生徒や保護者にしている。	45	50	0	0	5
		(4) ※①言語活動の充実を図る授業を積極的に行っている。	50	40	0	0	10
		(5) ※②ＩＣＴ機器を活用した授業を行っている。	40	45	10	0	5
	道徳	(6) 道徳の授業を行うことで、生徒は道徳的な考え方や行動力が身についてきている。	10	70	10	5	5
	総合的な学習の時間	(7) ※③総合的な学習の時間に取り組ませたことによって、生徒は課題を解決したり、情報を活用したり、それを発表したりする力が身に付いてきた。	35	45	15	0	5
	特別活動	(8) 学校行事（体育祭、一中フェスタなど）は、多くの生徒が活躍でき、内容も充実している。	60	40	0	0	0
		(9) 修学旅行、セカンドスクールの宿泊行事や校外学習では、充実した体験活動ができた。	70	25	0	0	5
		(10) 一中では、生徒会本部や各種委員会が行う生徒会活動は、生徒の自主的な活動になっている。	45	40	10	0	5
2 生活指導		(11) きまりに沿った標準服の着用や登下校の時間を守るなどの基本的な生活習慣を身につける取り組みをしている。	45	40	10	0	5
		(12) 避難訓練や防災訓練、セーフティー教室などの、安全・防災への取り組みを十分に行っている。	55	35	10	0	0
		(13) 生徒の悩みや相談を親身になって対応している。	35	45	15	0	5
3 進路指導		(14) (14) SNSの正しい利用の仕方について、生徒や家庭の理解を促すように取り組んでいる。	55	40	5	0	0
		(15) 職業調べやマナー講習、職場体験、高校訪問学習、進路希望調査などの進路指導の充実を図っている。	55	45	0	0	0
		(16) 一中では、※④進路学習で就職や進学について情報を十分に生徒に提示し※⑤進路選択の相談にのっている。	50	45	0	0	5
4 学校運営		(17) 学校の教育方針や授業や行事、部活動、生活面などの指導の重点をわかりやすく説明している。	35	55	10	0	0
		(18) 校長を中心に教職員がみんなで協力している。	35	40	15	5	0
		(19) 教員は、授業や行事、学習面や生活面などの教育活動に一生懸命に取り組んでいる。	65	30	5	0	0
		(20) 事務主事や用務主事など教員以外の職員は、担当の仕事に力をつくしている。	65	35	0	0	0
		(21) 学校での様々な出来事を生徒や保護者に、口頭やプリントで、きちんと説明している。	40	50	5	0	5
		(22) 学校環境は、日常的に清潔に整備されている。	25	65	10	0	0
5 地域連携		(23) 学校行事などを通じて地域との結びつきを大切にしている。	60	40	0	0	0
		(24) 生徒は、近隣の小学校や青少協・コミセンの行事などを通じて、地域の活動に協力している。	40	55	5	0	0
		(25) 学校だよりやホームページを通じて、生徒の活動や学校の様子などの情報をしっかり地域に伝えている。	60	40	0	0	0

＊A評価･B評価の上位評価の合計が80%を超えるものには青、C評価･D評価の下位評価合計及び「わからない」の評価が20%を超える質問項目に関しては赤の網掛けで示した。

h28



考 察

h28

評価項目	分析	改善策
(1)授業は、生徒にとって分かりやすい。	・授業観察をしている。工夫をした教材を作成し、授業に臨んでいる。わかりやすい授業を構成している要因の一つだと考えられる。一方、生徒の学力のもとは、家庭や地域の教育力に支えられていることも謙虚に受け入れる必要がある。	校内研修会で学んだことが、生徒理解につながり授業改善に役だっている。生徒アンケートの欄にも記述したが、校外での研修で学んだことを、教科間のみならず学年・学校の共通財産としたい。一人では教育活動は不可能。学年・学校の協力のもと研修に行くことを再度確認し、先生方へ還元することが必要。研究授業をその機会ととらえてもよいと思う。また、校内研修会や職員会議での報告で要点を話し、資料はオープンにしておくなど改善点はある。
(14)から(16)進路指導	・3年間を見通し、計画的に取り組んでいる。保護者の意識も前述したが、1年から3年へと学年が進行汁に伴い肯定的な評価が得られている。特に課題は、第一学年時での保護者への理解を広げていくことである。	・前出保護者アンケート(15)(16)に対する改善策と同様であるが、保護者への更なるアピールが必要。「宣伝」ではなく、『巻き込む」「取り込む」「協力をえる」視点で企画を立てる方法を実行していく。
(18)校長を中心に教職員がみんなで協力している。	下位評価は20パーセントであるが、保護者からの「肯定的」な回答は学年が進むにつれ80%を超えている。	・教職員一人一人多様な考え方がある。しかし、日々生徒に対して行う教育活動委は「教育目標」の具現化をめざして行う。同じ方向に向かい、それぞれの考え方を出し合い調整して学年、学級そして学校での教育を推し進めていく。生徒をよき方向に変容させるのは先生方の力量そのものにかかっている。